

## ○多世代共生型施設（仮称：福祉ヴィレッジ）整備事業に係る公募型プロポーザル審査結果の公表について

多世代共生型施設（仮称：福祉ヴィレッジ）整備事業に係る公募型プロポーザルの審査の結果、選定事業者が決定しましたので、公表します。

### 1. 経緯

少子高齢化や人口減少、福祉ニーズの多様化・複雑化など、福祉分野を取り巻く環境は大きく変化してきています。多世代共生型施設（仮称：福祉ヴィレッジ。以下「新施設」という。）整備事業は、それらの課題に対応した福祉サービスを確保するため、高齢者・障害者・子どもなどに対して通所や入所、相談などを包括的に提供する多世代交流・多機能型の福祉施設を整備することにより、総合的な福祉施策や福祉サービスを提供できる仕組みを構築するため、広く民間事業者から提案を募集しました。

本提案募集は、市がこれまで既存施設において提供してきたサービス及び機能に加え、多世代交流・共生のまちづくりを実現し、持続的かつ効果的な施設運営を可能とするために有効な事業又は機能を加えた新施設を、民間ノウハウを活用して整備することを目的としています。

募集の結果、1件の提案をいただきましたので、桑名市多世代共生型施設整備事業実施事業者選定委員会において審査し、選定事業者が決定しましたので、公表します。

### 2. 審査結果

選定事業者 大和リース株式会社三重支店（代表事業者）  
社会福祉法人桑名市社会福祉協議会（共同応募事業者）

### 3. 講評

選定事業者となった大和リース株式会社三重支店・社会福祉法人桑名市社会福祉協議会による共同提案の内容は、プロポーザルの公募仕様に合致しており、事業の趣旨を十分に踏まえている点や、公共性への配慮、事業実施に有効な独自性などが高く評価され、選定の要件である60%以上の点数を取得しました。